

平成26年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	丸田 勉
	全体計画			経費区分	-	内線	245-1770
事務事業名	4233 臥竜公園管理事業						
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課						
施 策	06023300 公園整備と街中緑化の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	080404 土木費・都市計画費・臥竜公園管理事務所費					
	事業	020000 臥竜公園管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
臥竜公園の維持管理と整備				市民の憩いの場としての都市公園整備を充実する。動物園と一体となった観光拠点としての誘客が図れる。			

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
桜樹勢回復、松保全、緑地整備	桜樹勢回復、松保全、緑地整備
平成24年度 実績	平成25年度 実績
桜樹勢回復、松保全、緑地整備	桜樹勢回復、松保全、緑地整備
平成26年度 予定	平成27年度 予定
桜樹勢回復、松保全、緑地整備	桜樹勢回復、松保全、緑地整備

指標名	須坂市動物園入園者数				
算式	年間入園者数				単位 人
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標			165,000人	170,000人
	実績	125,579人	161,558人	161,329人	
指標選定の理由	公園利用者だけを算出することは出来ないので動物園の来園者を指標にする。				
最終年度目標の根拠	イベントの充実実績から算出。				
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		24,568	25,163
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	2,619
一般財源		24,568	22,544
人員数(人)	正規職員	2.4	2.4
	嘱託職員	2.0	2.0
	臨時職員	2.7	0.9
人員コスト	正規職員	16,459.2	16,459.2
	嘱託職員	5,450.0	5,450.0
	臨時職員	3,177.9	1,059.3
	計	25,087.1	22,968.5
市民一人当たりの経費		0.9	0.9
総額		49,655.1	48,131.5

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	5,521	消耗品、光熱水費等
13節 委託費	9,873	松保全、整枝、樹勢回復委託料等
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2	会議等出席負担金
その他	9,172	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	20	
11節 需用費	6,409	
13節 委託費	9,775	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	5	
その他	8,954	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	興国寺より借りている臥竜山であるが、松の古木化が進み、池のさくらについても樹勢回復により維持延命を図っている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	市民憩いの場として早期課題解決を図っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	池の浚渫には事業規模からして補助事業等財源確保を要する。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
樹木の整枝、剪定、伐採等市民の安全確保を図り早期対応した。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>周辺の樹木の整枝、剪定、伐採等計画的に進め安全確保を図る。池の浚渫に対しては事業規模からして補助事業等財源確保を要する。</p>		<p>竜ヶ池の水質浄化など有利な財源を確保し、親しまれる公園整備を進める。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	